

平成29年度 大田区立石川台中学校 自己評価 報告書

平成30年3月9日

○ 本校の概要

教育目標 思考力に富む生徒 実行力のある生徒 情操豊かな生徒 学校規模 生徒数191(5月1日現在)学級数6学級(1~3年各2学級) 特色ある教育活動 小規模のよさを生かした「自覚ある生徒」を育てる学校行事 小規模のよさを生かした落ち着いた環境での学習 保護者、地域、学校支援地域本部の協力を得た活動 運動能力向上を目指す先進校の取組スーパーアクティブスクール(2年目)

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	目標	取組内容	目標に対する成果指標	これまでの取組及び今後の改善策	コメント
学力向上	児童・生徒一人ひとりの学ぶ意欲を高め、確かな学力を定着させます。	学習カルテを基に児童・生徒と面談し、一人ひとりの学習のつまずきや学習方法について、指導する。	4: 生徒、保護者アンケートによる本校の学習満足度85%以上	・少人数授業では、生徒の発言、発表の機会が増え、学び合う姿勢が高まってきた。 ・数学、英語の補習教室は軌道に乗ってきており、生徒の自主的な学習態度が身に付いてきた。 ・ALTによる昼休み英語カフェの実施を継続していく。 ・今後は今まで以上に「わかりやすい授業」のための工夫をこらした授業改善を行っていく。	・放課後や長期休暇を活用しての補習に、いいね！に取組まれている印象をもった。 ・落ち着いた学習に取り組んでいた。 ・少人数授業は細かい対応ができるので、とても有効だと思いました。英語カフェは一部の生徒のみが有効活用しているが、多数の生徒は上手に活用できていないイメージがあります。 ・生徒一人ひとりに配慮された取組がされていると思います。 ・教室の机に掛けであるショルダーバッグ(手提げバッグ)ですが、授業中は時分んのロッカーの中に入れて授業をした方が安全です。机と机の通路がショルダーバッグ(手提げバッグ)に塞がれて通れない。非常時の(地震・災害)の時に逃げ遅れてしまう可能性があります。 ・自分の意見、発表の機会が増えたことはとてもいいと思います。自分の気持ちを伝える人になってほしいです。 ・少人数授業ならではのきめ細かい教育を行っているなど小規模学校ならではの特色を活かし、よい成果がでているものと考えます。 ・取組評価がよいのに成果評価が低いのはまだ改善の余地があるということです。期待しています。 ・各々生徒の発言が増えているのが授業参観を通してわかります。日本人の特性からも学力向上の項目に関しては、満足度を上げるのは難しいと思います。
		算数・数学到達度をステップ学習チェックシートで児童・生徒、保護者に知らせる。	3: 生徒、保護者アンケートによる本校の学習満足度70%以上		
		学習指導講師等による算数・数学・英語の補習を実施する。	2: 生徒、保護者アンケートによる本校の学習満足度60%以上		
		外国語教育指導員を効果的に活用し、外国の方々とのコミュニケーション能力の育成等を図っている。	1: 生徒、保護者アンケートによる本校の学習満足度60%未満		
		授業改善推進プランを、授業に生かす。			
豊かな心を育む	子ども一人ひとりの健全な自己肯定感・自己決定力を高め、未来への希望に満ちた豊かな人間性を育みます。	小中一貫による教育の視点に立った生活指導の充実により、社会のルールや学校のきまりなどを守ろうとする意識を高める。	4: 生徒、保護者アンケートによる本校の生活満足度85%以上	・生徒の規範意識は高く、授業規律も守られている。だからこそ、学校生活のきまり等は、小中一貫の視点に立って考慮する必要がある。 ・定期的に会議を開き、情報交換を密にして、問題行動や不登校問題等に組織的に対応し、関係機関とも連携をとることができた。 ・90%以上の生徒が「学校生活が楽しい」という肯定的に答えている。	・今回、学校でお会いした生徒の多くがしっかりとあいさつをされることに好印象をもちました。日頃のご指導の成果だと思いました。 ・校内で会った生徒が、一人ひとりしっかりあいさつをしていた。 ・教職員は町会議などで情報共有をきちんと送っていると思います。石中生徒はルールやきまり等はきちんと守り、道徳的には意識が高いと思います。 ・生徒と先生の心の交流もできていて、学校を訪問するのに楽しい気分になります。 ・廊下やトイレがよく掃除されている。私たち外部の人にも生徒達は積極的に挨拶してくれます。すばらしいです。 ・多感な年齢こそ、きまりは大切だと思っています。 ・石川台中学校の生徒は、規律正しく、落ち着いたように感じます。各種の取り組みの効果があらわれていると考えます。 ・学校生活が楽しいというのが一番大切だと思います。思春期の声かけで大きく成長できる子どもたちも多くなると考えます。 ・落ち着いた生活ができていますと主須磨。生徒の90%以上が楽しい生活を過ごしていると思うのは立派だと思います。
		道徳教育推進教師を講師とした研修や、国、都及び区の資料を活用した授業等を行う等道徳指導充実のための取組を行う。	3: 生徒、保護者アンケートによる本校の生活満足度70%以上		
		学校生活調査(メンタルヘルスチェック)の結果よりストレス症状の認められる児童・生徒に対して組織的に対応する。	2: 生徒、保護者アンケートによる本校の生活満足度60%以上		
		学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見等のための取組を実施する。	1: 生徒、保護者アンケートによる本校の生活満足度60%未満		
		問題行動・不登校問題等にかかわる児童・生徒に関するケース会議等を実施する。			
体力向上	子ども一人ひとりの身体活動量を増加させて意欲や気力の元となる総合的な体力を育みます。	新体力テストの結果を踏まえ体力向上全体計画を作成し、計画に基づいた体育指導や「一校一取組」運動や「一学級一実践」運動を実施する。	4: 生徒、保護者アンケートによる体力・健康・安全に関する指導の満足度85%以上	・東京都のスーパーアクティブスクール指定校(2年目)として朝、昼、放課後の活動の充実を図ってきたため、生徒の運動する機会は格段に増えた。また、全校体制でミニムーブスを実施した。 ・生徒アンケートでは、90%以上の生徒が朝食をとっている。今後も体力向上の視点に立った健康教育を実践していく。	・スーパーアクティブという独特な取組が、朝食をしっかり採ることにつながることを実感してほしい。 ・体力向上への取組がすばらしかった。 ・朝や放課後の時間で運動量を増やす試みは、生徒の活動量が増えて良いと思います。スポーツ面はよいと思いますが、早寝等の生活面は少し不安を感じています。 ・生徒さんがもう少し多くなれば、部活動等も充実するのだと思います。 ・大会でのとても良い成績をおさめていることは、毎日の体力向上の成果だとうれしく思います。 ・アクティブスクールの取組の効果があらわれていると思います。 ・子どもの体力低下とともに二極化が問題となっています。運動嫌いの生徒にスポーツの楽しさを伝えていく取組を引き続きお願いいたします。 ・今後のスーパーアクティブ石川台の発展を楽しみます。毎年新しい取組があり、生徒は恵まれています。
		「早寝・早起き・朝ごはん」月間の取組等を通して、児童・生徒や保護者に対し、望ましい生活習慣についての意識啓発を行う。	3: 生徒、保護者アンケートによる体力・健康・安全に関する指導の満足度70%以上		
		給食指導及び教科等における指導を通して、食生活の充実・改善をねらいとした「食育」を推進する。	2: 生徒、保護者アンケートによる体力・健康・安全に関する指導の満足度60%以上		
		体育的行事、部活動、休み時間など様々な機会を通して運動習慣の確立を推進する。	1: 生徒、保護者アンケートによる体力・健康・安全に関する指導の満足度60%未満		
		スーパーアクティブスクール校として全校でスポーツ活動に取り組む機会を設け、全教員が協力して運営し、運動習慣の向上を図る。			
教育環境向上	教員の指導力向上、施設の整備や講師・支援員の配置などの学校サポート体制の充実に取り組み、学習環境の向上を図ります。	授業公開日の授業評価を、その後の授業改善に生かす。	4: 生徒、保護者アンケートによる教育環境満足度85%	・全教員が区の研究発表会に参加し、その後の授業に生かすよう、努力している。 ・校内委員会をほぼ毎週行った。学校における特別支援教育について、さらに研修を深めていく必要がある。また、学校特別支援員の配置時間増が望まれる。	・非常に多忙な中で、授業公開・研究発表会への参加などでご尽力されていることに頭が下がります。 ・ICT機器の活用は十分に出来ていると感じました。教職員の区研修等は、あまり保護者には見えないので、先生がどのような研修をしているか等、もっとアピールしてもいいかと思いました。 ・特別支援教育を受けている生徒さんも明るく学校生活を楽しんでいるように見えてとても喜んでおります。 ・色々な方の指導を仰いで、不登校児の人を目指してほしい。(大変だとは思いますが) ・先生方のご努力がうかがうことができます。 ・学校公開で授業の様子を見る機会があり、各先生方が工夫されているのがよく見てとれました。先生方のご努力は大変かと思います。
		授業改善セミナー等の研修成果を生かし、主任教諭が助言・支援を行う校内研修等を実施しOJTを充実させる。	3: 生徒、保護者アンケートによる教育環境満足度70%		
		各種研究発表会等の研究・研修の成果を、自身の授業改善に生かす。	2: 生徒、保護者アンケートによる教育環境満足度60%		
		学力の定着と学ぶ意欲の伸長を目指し、ICT機器を活用した授業を実施する。	1: 生徒、保護者アンケートによる教育環境満足度60%		
		校内委員会等を確実に実施し、学校における特別支援教育を推進する。			
家庭・地域の教育力向上	学校・家庭・地域の果たすべき役割や責任を明らかにするとともに相互の連携を深め、地域とともに子どもを育てる仕組みをつくります。	教育目標・学校経営方針・学校評価等の基本情報、児童・生徒の活動情報等をホームページ等で公開及び更新することにより、積極的に情報を発信する。	4: 生徒、保護者による「地域に開かれた学校」満足度が85%以上	・学校だより、学年だよりは、定期的に発行した。HPは毎月更新したが、さらに内容面での工夫を凝らすことが今後の課題である。 ・学校支援地域本部との連携により、充実した職業講話を企画・実践することができた。また、父母と教師の会との連携で祭礼等の地域行事に、ボランティアとして積極的に関わることができた。 ・夏季休業中の地域防災訓練では、学校防災拠点校として多くの生徒が参加した。	・地域防災訓練に、約2割の生徒が参加するなど、ボランティア活動に積極的に取り組まれていることを知りました。 ・HPの工夫、今後期待しています。 ・生徒の地域行事への参加率、態度がとても良かった。 ・石中は地域やPTAとの連携はとても良くできていると感じます。HPは月1で更新していますが、学校だよりのHPのみの月もあり、もう少しブログっぽい内容があっても良いと思う。 ・地域の行事にも参加している様子がわかりました。 ・ゲームや携帯の利用についても学校全体で取り組んでほしいテーマですね。小学校では視覚分野のアウトメディアの取組として研究をしている学校もあるようです。 ・まずは地域の参加もしていただき、また保護者と先生方のますますの連携をのぞみます。 ・HPの更新に期待します。もう少し学校の良さをPRできるものかよいと思う。 ・地域防災拠点校としての防災訓練や、地域の夏まつりに生徒が参加することは、地域と連携を深める良い機会になっていると思います。引き続き、地域との交流を積極的に続けられることを願います。
		地域教育連絡協議会において、児童・生徒の姿等の具体的な資料を作成して、評価に必要な学校の情報を適切に提供し、適正な評価を受けるよう努める。	3: 生徒、保護者による「地域に開かれた学校」満足度が70%以上		
		学校支援地域本部と連携するなどして、地域力を生かした特色ある教育活動を実践する。	2: 生徒、保護者による「地域に開かれた学校」満足度が60%以上		
		生徒を地域防災訓練やその他の地域ボランティアに積極的に参加させ、地域貢献による学校と地域の連携を図る。	1: 生徒、保護者による「地域に開かれた学校」満足度が60%以上		

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。

○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。

○学校関係者評価の「評価」は、A: 自己評価は適切である B: 自己評価はおおむね適切である C: 自己評価は適切ではない D: 評価は不明であるの4点について、評価した人数を記載する。